

**速切自動車**

電話呼出番七四番七  
電話番七六番七

女中入用十二歳以上  
平町南町

**自動車部強勉**

主 芹澤正忠

**生徒募集**

- ▲和服一般教授
- ▲持設夜間教授
- ▲生花茶ノ湯
- ▲作法隨意
- ▲自炊ノ便アリ

平町鍛冶町吉田屋吳服店向

**阿部裁縫塾**

電話二四六番

**建築ノ絶好季!!!**

機曾ハ來ル!!!

材料ハ安ク、能率ノ上ル  
頼ンデ徳、請ケテ樂ナ建物  
ノタメニナル

ハニ戸十五坪以内ノ住宅本  
年内十戸ニ限リ建築費三分  
ノ二迄三ヶ年月賦金融

▲家賃ト大差無キ掛金ニテ  
三年間ニ自分ノ家トナル毎  
月其家ノ東端シカラ三十六  
分ノ一宛アタノ物ニナツ  
テ行クノデス

**磐城株式會社**

**常盤新聞**

日八月一十年二十正大  
可認物便郵種三第

一冊金貳圓 廣告五拾十  
二ヶ月金貳圓 廣告一拾一  
三ヶ月金貳圓 廣告一拾一  
半年金貳圓 廣告一拾一  
一年金貳圓 廣告一拾一

日曜大祭 祝日ノ翌 休  
日 祝日ノ翌 休  
日 祝日ノ翌 休

發行所 常盤新聞社  
電話六三〇番

本社下町番地(電話六三〇番)  
印刷所 常盤毎日印刷行

發行兼編輯人 川崎文治

**萬本瓦**

福島縣四倉町  
萬年瓦工業株式會社  
電話三八

**博盛堂**

神佛祭葬具一式  
造花製造販賣  
引物一式取扱  
青年團旗學校旗  
其他旗類一式取扱

店主 阿部修

平町鍛冶小路三十番地  
電話(呼出)四四九番

**平町紺屋町 吉田眼科醫院**

内科 小兒科 花柳科  
病科 (需應院入)

藤沼醫院

電話 四五七〇番

**あん餅で東北一...**

鐵道省御用舗  
花澤四良司菓子店

**吳服類は總べて**

龜の商標を御信用願ひます

安く良くは龜の標語です

必らず御満足して戴ける確信です

最近の當店へぜひお運びを願ひます!

**中野吳服店**

平町三丁目(電話六七番)

**勉強と!!迅速とを**

御試めし下さいませ

**カフェー松ケ岡**

平町研町 電話呼出(二三三番)  
六五二番

大正生命保險株式會社  
平代理店

**多田井質店**

平町大工町

**品質優良 長合林量富**

**関内精米所**

平町長橋町電話呼出番〇六一  
御出文少多ハ拘ハ早ラズ配達イスマ  
是非一度御試シ願

**遠藤パン**

京都産出瓦斯販賣 有聲座席  
コックク特約販賣

櫻花爛漫たる平の公園  
園花の「トンネル」の新  
川堤

**原色版エハガ**

キを御活用下さい

これ平町の紹介  
宣傳で有ます

發行元 佐々木商店  
取次販賣各所に有

**常盤論壇**

**地方長官會議無用** 田中五郎

地方長官會議、於ける若規  
首相の演説は自分も新聞紙  
上で讀んだが平凡といへば  
平凡であるが、一体あつた  
場合の國務大臣の訓示演説  
なるもの相場は平凡と定  
つてゐる様であるから何も  
今度に限りて批評がましい  
ことを言ふにも當らぬと思  
ふが併し、苟くも國民の公金  
を使用して政府が地方長官  
會議と銘打つてやるからに  
は是が全く無意義であるや  
うなことは甚だ面白くない  
ばかりでなく國民に對して

誠に相濟まざる儀である、  
然るに歴代の内閣が毎年此  
の地方長官會議なるものを  
開催して業々しく形式はつ  
たことをやつてゐるが未だ  
會て此催しが有意義であつ  
たといふことを聞いたこと  
が無い大臣の演説は議會の  
成績の範圍に留まり政府が  
議會で發表したる所を繰返  
して吹聴し及ぶに過ぎない  
のであるから之を聞かされ  
る地方長官は何の爲めの會  
議であるかさへ分らなくな  
る、其處で之れを機會に各  
長官に存分の意見を吐かし  
て之れを政府の參考にする  
といふことも近頃はちよい  
く行はれるやうになつた

**一冊の代金**  
御希望通りな

**五冊の雑誌**  
自由に讀める

**川崎巡回文庫**

電話六三〇番  
(申込次規則書進呈)

# 今年は平の青年が

## 縣社の御コシを擔ぐ

### 敬神尊祖の奉仕的行爲

### 昨夜幹部が協議

平町縣社子銀倉神社の祭典も近づいた、其處で例年同神社の神輿渡御に當つては町内の人夫を狩り集め急ごしらへる

### 白丁姿

に仕立てて神輿を擔がしめて居たが昨日は死者の棺を擔いだ人夫が今日は神輿を擔ぐと云つた様な調子で神威の前にも甚だ恐れ多い型に依つて行はれて居た事を遺憾とし三丁目一部の青年は是非純真無垢なる青年の力に依つて神輿の渡御に當らしむる事にしたとの議が持ち上り昨夜の青年團

### 平町青年團

### 二日に總會

### 第一校に開く

平町青年團にては來月二日正午より第一小學校講堂に於て總會を開き諸般の協議を爲し役員改選の上團員の五分間演説あり日本青年聯合協會丸山理事の講演ある由だが終つて運動競技を行へ有志の懇親會を開くと

### 夏沿海學校

### 小名濱に開く

赤十字福島支部では新しい試みとして昨夏は腺病質の少年を收容して海岸學校を開き非常な好成績を挙げたので本年度も來る八月三日から三週間小名濱小學校に開催すべく費用として二千五百圓を計上し目下準備中である

### 農林省から

### 補助が來す

霧笛信號の目鼻つかず

完成の一日も早きを期待されてる鹽谷岬燈臺敷地内に

### 常磐片々

世を擧げて櫻に酔ふの時、内郷の山中に行倒れ男苦悶す

青雲の志を抱いて上京した彼れであつたが病をえて始めて故郷を想ふ

時既に懐中一物も残すなき彼れは辛じて徒歩を續くる事數十里、遂に知らぬ他國に病軀を横へ苦吟の涙に地上をぬらさねばならなかつた

春正に爛熟、徒らに上京熱に胃さる、青年子女ありせ

設置する霧笛信號機は總工費三千四百圓に對し農林省よりの補助八百圓を豫定しぬるも未だ本省よりの補助指令に接しないので或は補助されないではないかとの疑念さへ起つて居るほどで若し本年度に指令に接しないからとて切角計畫せるものを延期する事にも出来ないので豫定の八百圓を他に財源を求めねばならぬ縣内當業者よりの二千餘圓の寄附でも容易でない今日更に寄附による事もなら

### 逃けた次郎吉

### 平署に泣込む

兵庫縣武庫郡大庄村生れ道井次郎吉(三)は北海道サツポロ新田淺一方の鐵道工夫として働いて居たが丸で監獄部屋同様の酷使に耐え兼ね去る十六日逃げ出し本日平町迄來つたが郷里に赴く旅費が無いとて平人事相談所に泣き込んだ

### 病の身を郷里に

### 歸る途中行倒る

### 東京から松島迄徒歩にて

### 山野に打臥しつ

本日午前七時頃石城郡内郷村大字宮字竹の内より好間村に通ずる山道に瀕死の状態にて苦悶しつゝある

一名の男 を通行人

が發見其筋に届出たが同人は宮城縣松島町阿部太七(三)とて八年前に上京し種々の勞働に従事して居た所肺病に罹り主家を追はれて



家庭欄

婦人子供洋服は手縫ひで結構

一片一片散つて行く櫻の花に春は暮れてゆく、軽やか

### 石炭の

### 海上輸送

### 近く實現か

小名濱港を利用する石炭の海上輸送計劃は將來好況時の貨車不足に備ふる方法として最も機宜を得たる

### 考案なる

### のみならず

す之が實行の上は延長二百五十間に亘る防砂堤兼用の棧橋が出来て目下の處同港唯一の禍根として目されてゐる砂防の目的を達し得る事となるの縣に於ても

### 頗る結構

な事業と見てゐるがたゞ莫大な工費炭の腹案である

本縣當局としては殆ど困惑の状態にある

### 監獄部屋から

### 逃けた次郎吉

### 平署に泣込む

兵庫縣武庫郡大庄村生れ道井次郎吉(三)は北海道サツポロ新田淺一方の鐵道工夫として働いて居たが丸で監獄部屋同様の酷使に耐え兼ね去る十六日逃げ出し本日平町迄來つたが郷里に赴く旅費が無いとて平人事相談所に泣き込んだ

### 平町人事

### 出生

△研町三 宗形國次氏四女かれ  
△立町八五 大原辰治氏次男秀夫  
△五丁目七 佐々木徳雄氏長女ハル

### 死傷事故

### 年々減少す

平町従業員で負傷の未死亡は年々減少する當局でも極力豫防警戒に努むると共に従業員に對しても最善の注意を促しその他各方面の改良から今日では犠牲者を出す事が少なくなつたが同職近年の負傷人員數をみると大正十一年廿二人、十二年廿一人、十三年、四年各八人で負傷者の大部分は連

### 募集

### 文藝其他投稿を募集します

結手であつたが昨年度から自動連結機に改良されたので負傷事故も一層減少するであらうと

な洋服姿の婦人や子供を朝の若葉の蔭に見る時、重苦しい和服に身を凝らして運れたつ様は何かしら非運動的な不活潑な感じを抱かせたものであります。洋服は高價なもの、ミシンを習はねば作れないもの他所行きは衣服である位に思つてゐますが、これは大きな誤り

### 警城水産工業

### 事業進行協議

### 磐銀樓上にて

資本金一百萬圓の警城水産工業株式會社の重役會は二十三日午前十時より磐城銀行樓上に於いて開かれたが出席重役は八田宗吉、渡邊繁太郎、白井一郎、金成通小野晋平、鈴木辰三郎、野崎才助の諸氏で會社の今後事業進行法その他に關し協議を凝らした

### 兎の耳

### 二日後香時半頃

神奈川縣都築郡横濱線長津田驛附近、大旋風が起り驛前河原運送店の倉庫(建坪十二坪)を巻上げた

### 夏井表彰

### 組頭大會にて

白河町に開かれた縣下消防組頭大會に於て石城郡夏井村消防組は無火災村とし左の如く表彰さる

大正四年以來組員一致奮勵し滿十年間其組夏井村内に火災なからしめた事實顯著なりとす依火災豫防獎勵金交付規程第一條に依り金三十五圓を授與し之れを表彰す  
大正十五年四月二十四日  
福島縣消防協會長 重之正六位 藏